

## 平成 20 年度 施政方針の主な施策

### ①自然、都市と農村が調和するまちづくり

土地利用計画の見直し...岩手医科大学移転計画に合わせた新市街地形成を図る市街化区域の拡大を始め、本格的な土地利用計画の見直しに取り組みます。

農業基盤の整備...水田の汎用化、省力化を進め生産性の向上を図るとともに、徳田第二地区と下矢次地区のほ場整備を推進します。

都市基盤の整備...矢幅駅西地区は、区画道路、駐輪場、駐車場の整備と建物移転を含む面的整備の早期完成を目指します。駅前地区は用地の先行取得を進めるとともに、事業の早期完了に結びつく民間活力の導入の可能性について検討を進めます。広宮沢第二地区は、組合と一体となり企業誘致を進め、早期の事業完了を目指します。

幹線道路網の整備...岩手医科大学の移転計画と整合するアクセス道路の整備に向けた計画を推進します。

### ②地域に根ざした活力ある産業のまちづくり

農業の振興...品目横断的経営安定対策に加え、農地・水・環境保全向上対策を推進し、国などの支援を有効活用しながら営農組織の経営強化を図るとともに、認定農業者を含めリーダーの育成を進め、農業所得の増収に努めます。

商工業の振興...優良企業の誘致、地場産業の育成、町内企業の異業種間交流を進めるほか、中小企業振興資金貸付事業の充実、県小規模小口資金融資の保証料一部補助制度の新設によって、企業のフォローアップに努めます。また、商工会組織の基盤強化を支援するとともに、企業誘致による雇用機会の創出を図ります。

### ③安全で快適なやすらぎのあるまちづくり

生活道路の整備...交通量に配慮しながら維持補修に努め、地域の生活に支障のない整備を進めます。

上水道の整備改善...水需給環境の変化を的確に把握して安定給水を確保するとともに、適切なライフラインの整備改善を進め安全安心な水の供給に努めます。

下水道の整備...煙山、下矢次、上赤林地区などの既存集落を中心に事業計画区域の拡大を図り整備を進めます。平成 19 年度に不働地区の整備で全て完了した農業

集落排水事業については、今後、排水設備設置補助金に重点を置いて利用推進を図るほか、計画区域外の地域に対する浄化槽設置補助事業を継続します。平成 20 年度末の汚水処理人口普及率は 92.1% となる見込みです。

雨水排水整備...岩崎川排水区の整備を進めます。

環境保全...ゴミの減量化、資源化、再利用、分別収集など、町民と一体となった活動を展開します。また、その他プラスチック・その他紙製容器包装の中間処理施設整備に向けて、調査・設計に着手します。

コミュニティ活動...町民の組織的活動を支援し、地域リーダーと一体となり自主的な地域づくりを進めます。

防災体制の整備...災害の複雑多様化や大規模化に備え、高度な技術と機械力の整備を図り住民が安心して生活できる体制の構築を進めます。また、地域安全推進隊の活動強化、防犯連絡員等関係団体との連携を密にしながら犯罪のない明るく住みよい地域社会づくりを進めます。水防では煙山ダムの管理に万全を期すとともに、岩崎川の早期改修の実現に取り組みます。

### ④安心で生きがいのある健康長寿のまちづくり

高齢化社会への対応...介護保険事業による介護サービスおよび介護予防サービスの充実、65 歳以上の高齢者を対象とした生活機能評価健診による地域支援事業を実施します。ヘルスアップ事業は平成 20 年度で全行政区を一巡しますが、これを引き継ぎ、特定健康診査と特定保健指導を平成 24 年度までの 5 力年で実施します。

障害者福祉...障害者福祉サービスに併せ、地域生活支援事業の充実を図ります。

子育て支援...子育て支援センターや児童館の事業により地域における子育て機能の充実を図るとともに、私立保育園の運営経費などの助成を継続して行います。

### ⑤たくましく豊かな心を育てるまちづくり

学校施設改善と環境整備...矢巾中学校の移転改築を重点課題として具体的に検討を進めます。

社会教育の充実...さまざまな学習機会の提供と学習の質的向上、生涯学習の充実に努めます。

国際交流の推進...アメリカ・フリモント町、中国・寧波市江北区との親善交流を継続して実施し、国際的視野を広め人材の育成を図ります。

まち やはば」を実現するため、協働によるまちづくりを基本とし、行政施策の実態を正しく周知し、広く町民の声を聞き理解と協力を得ながら強い信頼関係を築き、住みよい地域社会を自らの手で形成する組織的活動を支援してまいります。

普通会計中期的財政見直しにおいて、歳入面では、自主財源である税、および依存財源である国庫支出金や地方交付税の伸びは期待できないものと想定され、当面は限られた投資的業務に対する起債しか見込めない状況にあります。一方、歳出面では、義務的経費の大きな削減も困難な段階にきており、第六次総合計画前期実施計画の投資的業務の支出、老朽化した施設の維持補修費、安全安心なまちづくりに要する事業など、新たな支出も生じております。このような中、平成二十年度予算は、財政調整基金などからの繰入金に頼らざるを得ず、依然として厳しい財政運営が求められ、財政基盤の確立と健全性を維持することが重要となることから、簡素で効率的な事務の推進に努めます。

今後も安全安心の町を目指して思いやりの心を重視し、職員と共に創意と工夫を凝らし、町民に夢と希望を与える行政経営を行うため、全力を傾注して町政を遂行してまいりますので、町民の皆さまのさらなるご支援を賜りますようお願い申し上げます。平成二十年度の施政方針といたします。

## 平成 20 年度 町長施政方針

# 安全安心の町を目指して 夢と希望を与える行政経営



町議会で施政方針を述べる川村町長

### 町勢発展へ着実に前進 安心安全のまちづくりを目指す

昨年の町内の情勢は、岩手医科大学薬学部の開学ならびに医・歯両学部の教養部のスタート、矢幅駅西地区土地区画整理事業の本格展開、関連事業である東西自由通路・橋上新駅舎の整備、広宮沢第二地区土地区画整理事業による誘致企業の業務本格化など、都市基盤整備が進められました。

スポーツ関係では、岩手 21 赤べこ野球軍団の都市対抗野球大会での活躍や秋田わか杉国体での力強い競技における水本圭治選手の二種目優勝、また、経済文化面においても、桜屋集落のいわて集落ビジョン大賞受賞や矢巾東小学校のエネルギー教育賞最優秀賞受賞など、発展

する町の未来に希望を感じさせる年でもありました。

町政におきましては、第六次総合計画前期実施計画の二年目として、町民誰もが安全安心を感じるこころとができるまちづくりを目指し、対話を通じて町民の皆さまのご意見を尊重しながら、農業基盤整備、都市基盤整備、下水道整備、保健福祉サービス、教育環境整備などに誠心誠意取り組んでまいりました。

### 深刻さが増す財政状況 財源の効率的活用にも努める

財政状況につきましては、地方交付税の総額は確保されましたが、出口ベースでの減額により地方公共団体に対する交付額は減額されるなど、歳入の確保が困難な状況となり、厳しい財政運営が続く中、歳出

面の見直しを含めた検討を進めてまいります。

深刻さを増す財政状況において、さらなる改革を進める努力を継続し、歳出削減に取り組んでおりますが、高齢化に伴う社会保障関係の歳出を圧縮することが困難な状況となっており、改革努力によって生み出される財源の一層の効率的活用により、果敢に取り組む必要を感じております。

### 財政基盤の健全性を維持し 簡素で効率的な事務を推進

平成二十年度予算の概要について、第六次矢巾町総合計画の五つの施策体系に沿って、主要な事業に関し、取り組みや課題についてご説明申し上げます。（左ページ表を参照）次に、基本理念である「みんなで作る」の趣意を踏まえ、

# 予算

80億3,920万円

限られた財源を有効に活用

## 主な事業の内容

<単位：万円(千円を四捨五入)>

### 民生費

- ▶重度心身障害者医療費助成事業に... 8,001
- ▶身体障害者福祉事業に... 57
- ▶障害者自立支援給付事業に... 2億2,336
- ▶地域生活支援事業に... 1,883
- ▶老人福祉総務事業に... 2,176
- ▶介護予防事業に... 1,378
- ▶地域子育て支援拠点事業に... 550
- ▶児童手当給付事業に... 2億4,385
- ▶私立保育園助成事業に... 3,666
- ▶母子福祉医療費助成事業に... 6,642

### 教育費

- ▶教育研究所運営事業に... 555
- ▶小学校保健衛生事業に... 1,273
- ▶小学校教育振興事業に... 4,291
- ▶小学校英語力向上事業に... 81
- ▶中学校保健衛生事業に... 642
- ▶中学校教育振興事業に... 2,283
- ▶中学校基礎学力向上事業に... 75
- ▶芸術文化振興事業に... 128
- ▶自治公民館運営事業に... 480
- ▶埋蔵文化財発掘調査事業に... 1,497
- ▶体育施設運営事業に... 1,489

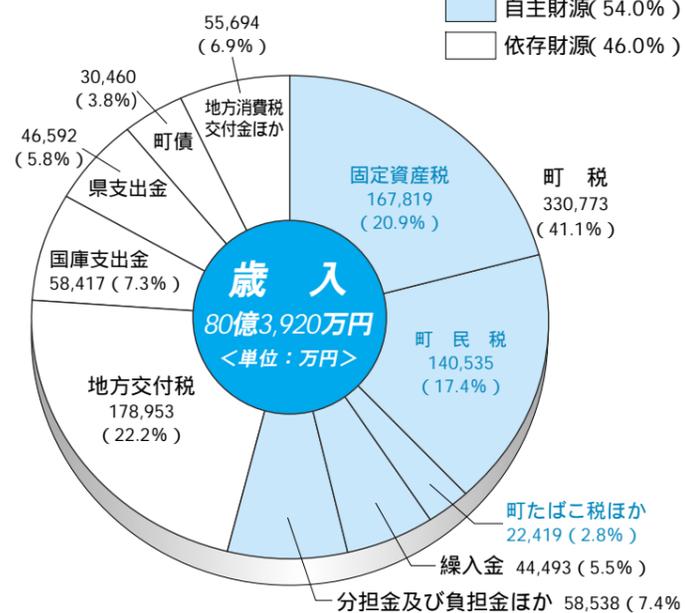
予算は、四月一日から翌年の三月三十一日までの一年間に、町がどんな仕事にどれだけの経費をかけて行うかを示すもので、一般会計と特別会計、企業会計の三つからなっています。

### ■一般会計予算

平成二十年年度の町の一般会計当初予算は八〇億三九二〇万円となりました。矢幅駅東西自由通路整備が完了したため、国庫支出金が大幅に減少し、前年に比べて予算総額で五億三六〇〇万円少ない六・三％の減額となっています。

町に入るお金(歳入)は、国の税源移譲などによって町税の町債は約四億六千万円の減(三・八％)となっています。お金の使い道(歳出)では、民生費が二億三三三三三万円(二七・八％)とトップで、以下土木費が一億六三三三三万円(一四・五％)、公債費が一億五一一八一万円(一四・三％)の順となっています。

自主財源(54.0%)  
依存財源(46.0%)



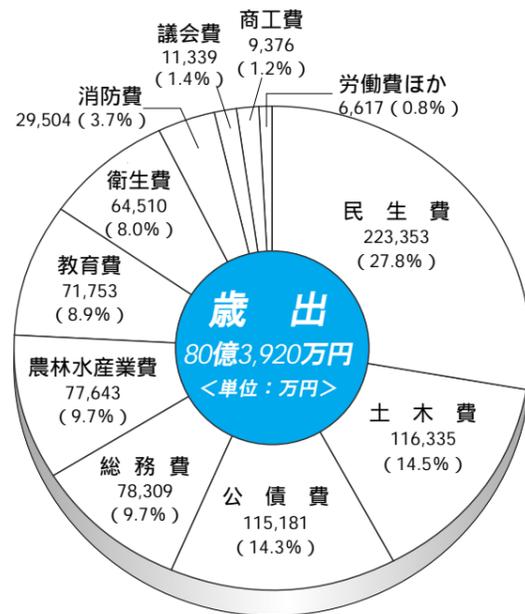
### \*\*\* 財 政 用 語 解 説 \*\*\*

地方交付税 = 町の財政力に応じて国から配分されるお金  
町債 = 大きな事業を行うときに借りるお金  
国庫・県支出金 = 事業に対し国や県から交付される補助金など  
繰入金 = 積み立てた基金を取り崩したお金  
総務費 = 一般的な事務経費や財産管理、統計調査費、広報経費など  
民生費 = 老人や障害者、児童などの社会福祉のための経費  
公債費 = 事業を行うために借りたお金の返済金  
自主財源 = 町税や繰入金など町が独自に調達できるお金  
依存財源 = 国や県から交付されるお金や割り当てられる収入

四・〇％となりました。国からの地方交付税はほぼ横ばい(二・二％)、町の借金にあたる町債は約四億六千万円の減(三・八％)となっています。お金の使い道(歳出)では、民生費が二億三三三三三万円(二七・八％)とトップで、以下土木費が一億六三三三三万円(一四・五％)、公債費が一億五一一八一万円(一四・三％)の順となっています。

### ■特別会計・企業会計予算

特別会計については、国民健康保険事業をはじめとする七会計が総額五七億三一一八六万円となりました。企業会計の水道事業は、収益的支出と資本的支出を合わせ、八億四〇五九万円となっています。



### 平成 20 年度特別会計・企業会計の予算

会計名	予算額	会計名	予算額
国民健康保険事業	211,050	農業集落排水事業	34,299
老人保健	22,419	矢幅駅周辺土地区画整理事業	61,627
介護保険事業	133,285	水道	収益的支出 54,682
後期高齢者医療	14,215	事業	資本的支出 29,377
下水道事業	96,291		

単位：万円(千円を四捨五入)

## 主な事業の内容

<単位：万円(千円を四捨五入)>

### 土木費

- ▶道路維持事業に... 5,323
- ▶除雪事業に... 2,846
- ▶町道の新設改良事業に... 1億3,190
- ▶河川改良事業に... 368
- ▶矢幅駅周辺整備事業に... 1億8,524
- ▶街路事業に... 430
- ▶都市公園の維持補修事業に... 357
- ▶町営住宅の改修事業に... 1,903

### 総務費

- ▶職員研修事業に... 238
- ▶行政区管理運営事業に... 1,224
- ▶行政改革推進事業に... 11
- ▶人材育成事業(国際交流)に... 333
- ▶交通安全指導事業に... 668
- ▶防犯対策事業に... 185
- ▶コミュニティ推進事業に... 2,423

### 衛生費

- ▶成人検診事業に... 3,770
- ▶母子保健事業に... 2,307
- ▶予防接種事業に... 3,889
- ▶感染症総合対策事業に... 218
- ▶浄化槽設置整備事業に... 793
- ▶ごみ処理場運営事業に... 3億7,306

### 農林水産業費

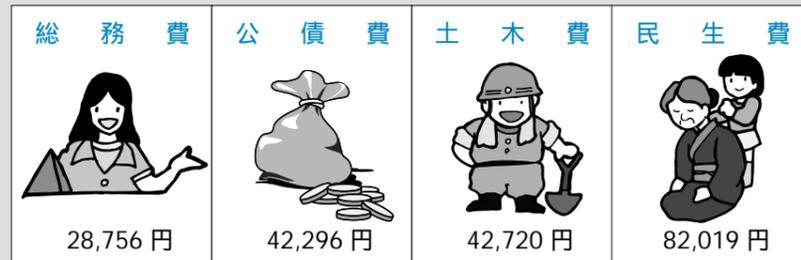
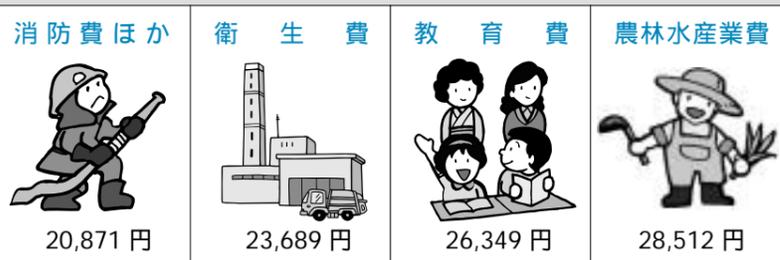
- ▶農業経営構造対策事業に... 223
- ▶農作物流通消費拡大事業に... 170
- ▶農業生産振興対策事業に... 875
- ▶ほ場整備事業に... 8,543
- ▶かんがい整備事業に... 1億6,895
- ▶煙山ダムの維持管理事業に... 665

### 消防費

- ▶非常備消防事業(消防団など)に... 2,867
- ▶消防訓練服の更新に... 729
- ▶消防施設維持事業に... 760
- ▶水防事業に... 73

### 商工費

- ▶商工業振興事業に... 1,636
- ▶中小企業振興資金貸付事業に... 548
- ▶自然公園維持管理事業に... 187
- ▶企業誘致推進事業に... 636



一般会計予算を町民一人当たりでみると...

295,212円

平成 20 年 3 月 1 日  
現在の人口 27,232 人